



『新年のご挨拶』

校長 福田 雅子

新年を迎えたと思っていましたら、この学校だよりをお届けする頃はもう2月。「平成」の時代も3か月を残すところとなり、5月には新しい元号になります。時が過ぎて振り返ってみたときに、平成時代はどんな評価を受けるのわかりませんが、生徒たちには、「平成は〇〇な時代だった」と自分でも語れるように、残りわずかなこの時代を思う存分伸びやかに、自分なりの歴史を刻みつけてほしいと思います。

今回は始業式で生徒たちに伝えた内容から「高校生に求められるコミュニケーションの力」について抜粋してお話いたします。



毎年9月の就職試験前あたりから、どの高校でも就職や進学を受験に向けて面接指導を行います。「あなたの自己PRをしてください。」という面接官役からの問に対して、「コミュニケーション（能）力があります。登下校の際は地域の方に自分から挨拶をしたり、クラスで話し合いをするときは自分から積極的に意見を述べるようにしています。」といった内容の答えが受験生から返ってくる場合があります。私は受験生とのやり取りに「なるほど、そうですね。」と聞きながら、それでは“これから社会に出ていく皆さんのような高校生”にとって求められるコミュニケーション能力とはどのような力なのか、ふと思いました。何故なら、先ほどの面接指導の続きで、想定外と思われる質問を向けるとしどろもどろになってちぐはぐな答えが返ってきたりすることがあるからなのです。

デジタル大辞泉によると、コミュニケーション能力とは「社会生活において、他者と円滑に意思の疎通が行える能力。」とあります。ここに言う【社会生活における他者】というのは当然、自分が良く知っている友人・知人、身近な人、普段から付き合いのある人ばかりではありません。初対面の人、自分とは価値観が異なる人、苦手な上司・・・のこともあるのです。そういう様々なタイプの人でも、そして予期せぬ突発的な状況であっても、その場に応じて、相手の考えを聞き、受け止め、自分の意見や考えをわかりやすく述べ、または理解してもらうよう努力する力がこれから社会に出る高校生の皆さんが身に付けておくべきコミュニケーション能力なのではないかと思うのです。

ところでこれまで生徒の皆さんは、わかりあい、察しあいながら、生活しています。例えば家では家族が皆さんの気持ちを察して、学校では友達や先生方が皆さんの思いを察して過ごしていると思います。すると、時には自分で全部を説明しなくても何を言いたいのか察してもらって、相手にすぐわかってもらえたりする。ところが、これから出ていく社会ではコミュニケーションの相手が「他者」だということです。察してくれる人ばかりではない。しかしラッキーなことに皆さんには、“色々な体験活動”のチャンスが高校生活の3年間に幾つも学校行事として予定されていて、自分の言葉で話したい、と思えばそのチャンス毎に「他者」と接触できる状況を作ることができます。ポイントは“話したいと思う気持ち”ということです。加えて私は生徒の皆さんに、普段から“自分の頭で考える”訓練を続けてほしい。この言葉は終業式でも話しましたが、初対面の人や価値観の異なる人と対話するにはそれ相当の語る材料と、そのことについての自分なりの意見が必要だと思うからです。気になったこと、何だか引っかかったことを何故だろうって考える。そういう習慣が大事だと思うのです。別の表現で言い換えると、目の前を過ぎていくことやあなたの周りで起こることをぼーっと見ているだけではなく、よく観察する、よく見ておくということでしょうか。日々のその繰り返しがおそらく皆さん方の他者との対話力を向上させ、社会で通用するコミュニケーション能力に繋がっていくと私は確信しています。

新年のスタートにやや長くなって読みづらかったかもしれませんが、この「コミュニケーションの力」については、いつか話したいと思っていて始業式の中で伝えました。生徒の皆さんが熱心に耳を傾けて聞いている（と思う）姿勢が嬉しかったです。

今年が皆様にとって実り多い年となりますよう祈念いたします。そして北松西を今年もどうぞよろしくお願いたします。

2月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	金	小中高一貫教育地区報告会
2日	土	対外模試（2年）（～3日）、高校新人駅伝
5日	火	進路講演会（1、2年）
6日	水	B日課、租税教室
7日	木	1・2年学年末考査時間割発表、朝学タイム開始、主権者教育
12日	火	B日課
14日	木	1・2年学年末考査～19日（火）
24日	日	英検二次
25日	月	国公立大学前期試験
26日	火	B日課
28日	木	卒業式設営、同窓会入会式、卒業式予行



各種大会結果

◎ソフトテニス部

大会名：第48回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ

ソフトテニス2019 シングルス 長崎県代表選考会

日時：平成31年1月19日(土) 会場：雲仙市国見町遊学の里

- 1回戦 福崎 4-2 西彼杵
- 2回戦 福崎 4-0 五島海陽 山元 4-3 佐世保西
- 3回戦 福崎 4-1 佐世保商業 山元 2-4 大村【県ベスト32】
- 4回戦 福崎 0-4 大村【県ベスト16】



◎バドミントン部

大会名：第15回佐世保地区高等学校学年別シングルスバドミントン選手権大会

日時：平成30年12月23日(日) 会場：佐世保市体育文化館

- 1回戦 貝屋 2-0 佐世保南 伊藤 2-0 九州文化学園
- 川口 2-0 聖和女子 升水 0-2 佐世保実業
- 2回戦 貝屋 1-2 佐世保東翔 伊藤 0-2 聖和女子
- 川口 2-0 佐世保高専
- 3回戦 川口 1-2 佐世保北

大会名：第37回佐世保地区高等学校新春ダブルスバドミントン選手権大会

日時：平成31年1月6日(日) 会場：佐世保市体育文化館

- リーグ戦 伊藤・升水 0-2 佐世保北 貝屋・川口 2-0 猶興館
- 2-0 佐世保南 2-0 佐世保西
- 2-0 佐世保北

トーナメント1回戦 貝屋・川口 2-0 清峰 2回戦 貝屋・川口 0-2 聖和女子



吹奏楽部出初式参加

1月6日（日）、小値賀町の消防出初式に吹奏楽部が小値賀中学校吹奏楽部、ちかはな吹奏楽団の皆さんと一緒に参加し、式での演奏を行いました。

消費者生活支援講座

1月15日(火)3年生を対象に消費者生活支援講座を実施しました。長崎県食品安全・消費生活課・啓発相談班・課長補佐 塩田幸夫氏をお招きし、「賢い消費者になるために」の演題で講話をしていただきました。



ロードレース大会

1月29日(火)、平成30年度北松西高等学校ロードレース大会が実施されました。
女子 9:30 スタート(5.2km)：学校→松香丘→大浦→浜津→柳→学校
男子 10:30 スタート(8.5km)：学校→柳→浜津→大浦→笛吹→中村→柳→松香丘→学校のコースで、チーム対抗(11名：男子7名、女子4名)の全3チームによる合計タイムで競技を実施いたしました。開会式では2年貝屋恵理さんが選手宣誓を行い、正々堂々と競い合うことを誓いました。生徒たちは自己の限界に挑戦し、最後まであきらめず全員走り抜きました。完走後は保護者、職員、3年生が準備した豚汁、ご飯がふるまわれました。炊き出しに協力していただいた保護者の方々、沿道で応援をいただいた地域の方々、交通関係および救護関係の警察署、消防署の方々、本当にありがとうございました。結果は以下の通りです。

イエローチームキャプテン： 松永 海千郎

1週間遅れの開催となり、どうなるかと思いましたが、良い天気の中走ることができて良かったです。レース中、もうダメかと思うときも、保護者や地域の方々の沢山の声援のおかげで最後まで走りぬくことができ、我々イエローチームが見事優勝を勝ち取ることができました。レース後の豚汁もおいしかったです。改めて、先生方、保護者や地域の方々に支えられているんだと思いました。ありがとうございました。今後も仲間と共に、北松西高校や小値賀を盛り上げていけるように頑張っていきます。

【団体の部】

優勝：イエローチーム

【個人の部】

女子 優勝：川口みさと 23分35秒
2位：山元 春花 25分14秒
3位：川村 希 25分45秒
男子 優勝：筒井 尚史 31分47秒
2位：藤松 義匡 32分28秒
3位：橋本虎太郎 33分15秒



イエローチーム



レッドチーム



ブルーチーム



スタートの様子



レースの様子

センター試験

1月17日(木)、大学入試センター試験への出発にさきだち、本校の3年生7名が在校生および職員から激励を受けました。本校の生徒は1月19日(土)、20日(日)の2日間、佐世保市の長崎国際大学の会場で試験に挑みました。



在校生からの激励



激励を受ける受験生

編集後記 松のひとりごと・・・

2019年・平成31年(亥年)がスタートしました。平成が終わる年です。充実した1年とするための準備は整っているのでしょうか。皆さんがそれぞれ昨年の自分から様々な面で成長できるよう願っています。今年は亥のごとく前に突進の1年にしましょう。また、3年生と過ごすことができるのも残りわずかとなりましたから、心残りのないよう関わり合い、北松西高校を受け継いでいきましょう。

